

節宇龜山雲平先生年譜

年号	西暦	年齢	事蹟	藩主	参考事項
文政 5年	1822	1	1月20日龜山百之の次男として姫路に生る	忠實	文政4年仁寿山校を開く
天保 3年	1832	11	姫路藩校好古堂に入り藩儒角田心藏に学ぶ	ただみつ	9月頼山陽53才にて没す
10年	1839	18	4月16日當分の内遇日方、句読手伝い仰せ付けられる。 (7月5日上の本役を仰せ付けられる)	忠學 ただのり	天保6年4月27日忠實隠居する。
11年	1840	19	4月15日学問出精につき御褒美として祿代、金200匹を賜う		
12年	1841	20	書物預役兼務を仰せ付けられる		6月14日河合寸翁75才にて没す
13年	1842	21	4月5日学問出精につき2人二土扶持の手當を賜う。 8月好古寮肝煎を仰せ付けられる。		仁寿山校を廃し寄宿舎を大手前好古堂に移す
14年	1843	22	2月26日指南手伝を仰せ付けられる。寮肝煎、書物預役は前の通り。 閏9月30日兄剛毅病により没す。子なきにより藩命により龜山家を嗣ぐ。 焼火番を仰せ付けられる。12月23日書物役を免ぜられる。		
弘化 元年	1844	23		忠宝 ただとみ	3月好古堂増築成り4月3日開講の典に忠學自らこれに臨む。 天保暦を実施忠學10月10日37才江戸において卒す
3年	1846	25	9月22日寮肝煎免ぜられる		
嘉永 元年	1848	27			5月27日忠實70才にて卒す
3年	1850	29	9月22日詩緝校定読合せ仰せ付けられる。 12月24日江戸昌平坂学問所寄宿舎仰せ付けられる。 同日詩緝校定読合骨折につき金百疋を賜う		
4年	1851	30	正月18日江戸昌平坂学問所へ入門、佐藤捨藏(一斎)に師事する		
6年	1853	32	2月26日江戸昌平坂学問所書生寮詩文掛仰せ付けられる。 6月8日アメリカ船浦賀へ渡来につき藩公御供、中小姓仰せつけられる。 12月1日御近習席御学問御相(待読)仰せ付けられる。	忠顕 ただてる	忠宝8月10日25才江戸において卒す
安政 元年	1854	33	5月1日御溜間詰御祝餅藁の節、浴衣三尺帯手拭、外に喜光院様より酒肴料を賜う。7月17日校定詩緝一部下賜される。 12月21日御内御用にて御慰斗目一つ及び金5両賜う		
2年	1855	34	3月28日藩公初の入部につき御供仰せ付けられ、5月18日江戸発駕、御道中御次番相勤める。 5月御帰道中出精につき金200匹賞賜される。 6月1日好古堂教授仰せ付けられる。 12月28日数年出精相勤めたるにより高増10石下賜される。		10月安政大地震、藤田東湖50才没す
3年	1856	35	6月15日参府御供仰せ付けられる。 8月15日姫路を發した。 7月11日江戸在番仰せ付けられる		6月15日藩公好古堂を改革し、條規を定める
4年	1857	36	4月1日御入部の御供仰せ付けられる。 5月1日當年は人少につき滞府するよう老中より達せられる。 12月24日御内御用にて羽二重小袖1枚、金2両2分下賜される		5月下田条約結ばれる
5年	1858	37	7月11日御内御用にて金2万両2分拝領する。		
6年	1859	38	8月5日三宅土佐様え召され御紙入1つ拝領する。 9月11日江戸御発駕、御供にて10月2日姫路に帰る12月23日御内御用にて御肩衣袴拝領		
萬延 元年	1860	39	4月2日御手當として金15両下賜	忠績 ただしげ	3月桜田門外の変・忠顕10月14日25才江戸において卒す
文久 元年	1861	40	4月9日顕徳院様御遺物として長袴肩衣馬乗袴拝領する。 11月5日大目付仰せ付けられる。教授は前の通り		
元治 元年	1864	43	正月11日高増20石下賜される。 3月8日御用向有るによって出京仰せ付けられる。 4月7日姫路に帰る。 8月修善院様御遺物御紋付黒紬金300疋下賜される。 11月29日御内意御用向有るによって出府仰せ付けられる		姫路藩甲子の獄
慶應 3年	1867	46	3月16日急遽出府仰せ付けられる。御用済の上5月11日姫路に帰る	忠惇 ただとう	忠績2月3日隠居す。閑亭と号す。 10月大政奉還
明治 元年	1868	47	正月12日備前軍使應接の儀仰せ付けられ相勤む同14日池田備前守御人数出張中、應接の掛仰せ付けられる。 2月25日直之助様御上京御供仰せ付けられる。 在京中介添役ならびに本メ兼務を仰せ付けられる。 3月26日姫路に帰る。 4月1日直之助様学問御吉話仰せ付けられる。 同7日隣交掛仰せ付けられる。 同8日直之助様介添役兼務仰せ付けられる。 6月14日絵図門御番仰せ付けられる。 7月8日中小姓組頭御取次兼務を仰せ付けられる。 11月24日中小姓組頭廢役仰せ出される。但席はこれまでの通り	忠邦 ただくに	改元9月18日 1月17日姫路城12月10日昌平・開成2校ならびに医学校に教授をおく。 忠惇5月20日隠居す。樂堂と号す
2年	1869	48	3月総社御門御番方仰せ付けられる。 10月1日名を雲平と改める		忠邦6月18日姫路藩知事に任ぜられる

3年	1870	49	9月8日学問御相手申し付けられる。 12月学問御相手勤めるについて御紋付御召物御手より拝領す	忠邦 ただくに	
4年	1871	50	正月28日願いにより隠居		7月14日廃藩置県の詔書出る
6年	1873	52	7月23日松原八幡神社祠官仰せ付けられる。 8月17日飾磨縣御雇により地誌提要取調べ申し付けられる。 同年10月3日完了により解雇となる。 12月18日大教正有馬頼成より教導職9級試補申し付けられる		
11年	1878	57	11月28日神道事務局より播磨國神道事務局副長担任仰せ付けられる。		
14年	1881	60	8月13日内務省より權大講義に補せられる。		
17年	1884	63	9月17日1等仮試験合格証を兵庫県皇典講究分所より下附される。 10月1日觀海講堂新築落成		
18年	1885	64	9月20日神道官長稲葉正邦より大講義に補せられる		
19年	1886	65	10月16日飾東郡祠官掌副取締申し付けられる。 同19日權少教正に補せられる		
20年	1887	66	6月16日神道姫路分局内局顧問申し付けられる。 12月26日少教正に補せられる		
21年	1888	67	11月23日飾東郡祠官掌取締担任を申し付けられる		
23年	1890	69	8月12日兵庫縣皇典講究分所受持委員申し付けられる		
32年	1899	78	1月1日神職監理局姫路市飾磨郡分局長申し付けられる。 同11日姫路神社及び射楯兵主神社々司に兼補せられる。 5月6日病氣にて觀海講堂において没す。 姫路瑞松山景福寺先塋の傍に葬る		